

松浦製茶 華の部最高賞 都優良茶品評会

茶況

24日

第44回東京都優良茶品評会が22、23の両日あり、3部門の1等3席までの9点を県勢が4年連続で独占した。森町の松浦製茶が華の部（1キ当たり仕上げ茶価格7000円）で1等1席の農林水産大臣賞を初受賞したほか、2部門で1等2席に入った。

松浦製茶は昨秋の静岡茶品評会で最高位の農林水産大臣賞を初受賞するなど好成績が続ぎ、松浦芳雄社長（五）は「職人の仕上げ加工技術が高まっていると感じている。原料の荒茶を懸命に作ってくれる農家に感謝したい」と話した。

松浦製茶は昨秋の静岡茶品評会で最高位の農林水産大臣賞を初受賞するなど好成績が続ぎ、松浦芳雄社長（五）は「職人の仕上げ加工技術が高まっていると感じている。原料の荒茶を懸命に作ってくれる農家に感謝したい」と話した。

（円）は森町の島商店が1等1席で昨年の華の部の優勝に続く好成績。香の部（同3000円）は掛川市の三重大製茶が2004年以来2度目の1等1席に輝いた。静岡、鹿児島など8府県の50社が出品し、専門家と味が香りを重点に調べた。

ほかの主な1等入賞と部門別出品数は次の通り。▽華の部（47点）大塚製茶（掛川市）山亜里製茶（御前崎市）▽香の部（44点）おさだ製茶（森町）▽香の部（32点）JA大井川藤枝茶流通センター（藤枝市）袋井・森 指導機関は病害虫の防除を呼び掛けている。掛川・小笠 農家は茶園管理に努めている。島田・金谷 農家は防除などの茶園管理を進めている。

最高位に島商店

東京都優良茶品評会 香の部

夕刊茶況

25日

第44回東京都優良茶品評会の香の部（1キ当たり仕上げ茶価格5000円）を制した島商店（森町）の島謙造社長（五）は「主な販路の関東地方の店の好みに合うよう努めている」と喜んだ。昨年の華の部（同7000円）の最高位に続く連続優勝で「どんなお茶が消費者に好まれるか、生産者と対話をしている」という。

香の部（同3000円）は三重大製茶（掛川市）が2度目の優勝。最高賞は華の部で2回、香の部でも3回獲得している。25年ほど3部門に出品を続ける渡辺芳夫社長（六）は「いつも挑戦していくこと

が必要だと思っている」と話した。（松本利幸）

袋井・森 農家は朝夕の涼しい時間帯に茶園作業をしている。

掛川・小笠 産地問屋は、贈答品や冷茶の販売促進に力を入れている。

島田・金谷 茶商は冷茶などの販売促進に力を入れている。

川根 茶商は補充注文に対応しながら夏場の需要喚起に努めている。

牧之原 茶商は水出しティーバッグなど冷茶の売り込みに力を入れている。

藤枝 第44回東京都優良茶品評会の香の部（1キ当たり仕上げ茶価格3000円）でJA大井川藤枝茶流通センターが1等3席に入った。

川根 茶商は消費地と情報交換しながら販促に努めている。

牧之原 農家は朝夕の涼しい時間帯に茶園管理をしている。

藤枝 指導機関によると、害虫チャトゲコナジラミの密度が高まっている。